



取扱説明書

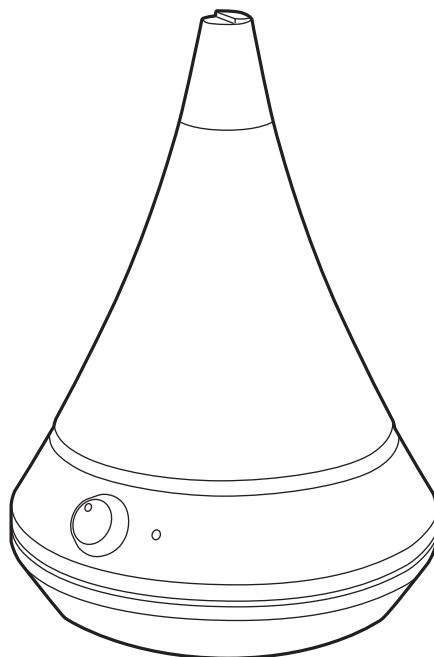
保証書付

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

超音波式加湿器

MZ-A17 (1.7リットル)



も く じ

安全上のご注意	1～4
各部の名称とはたらき	5～6
使用上のご注意	6
使いかた	7～10
お手入れと保管	11～12
故障かな？と思ったら	13
仕 様	13
アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社加湿器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告



禁止

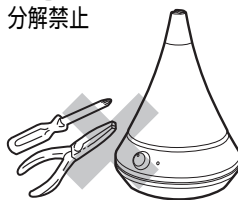
交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火や火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない



- 発火したり、異常動作してけがの原因になります。
- ※修理はお買上げの販売店へご相談ください。



指示に従う

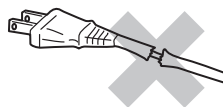
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



- 感電・ショート・発火の原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



禁止

開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない

- 感電や異常動作してけがをする原因になります。



警告

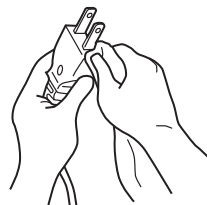


定期的に電源プラグのほこりを取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない

指示に従う

●ピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



使用中に本体に異常があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

指示に従う

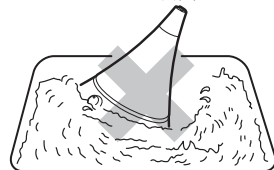
●感電や発火の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

●感電・ショート・火災・故障の原因になります。



禁止

お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない

●有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。



禁止

幼児の近くや不安定な場所で使用しない

●転倒すると水がこぼれたり、けがをする原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

●また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災や、感電の原因になります。

※結束バンドは必ず外す。



禁止

幼児や身体の不自由な方には、付き添いなしで使用しない

●けがや故障、事故につながる原因になります。

次のような方は周囲の方が特にご注意ください！

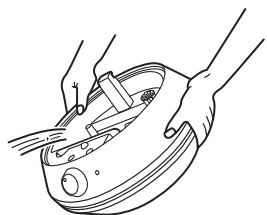
- お子様・お年寄り・ご病気・皮膚の弱い方。
- 身体の不自由な方・ご自分で意思表示のできない方。
- 疲労の激しい方・深酒をされた方・睡眠薬など服用された方。



指示に従う

排水するときは、本体から水タンクを外し排水方向に従って排水する

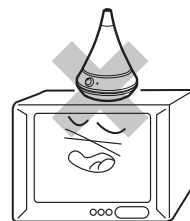
●排水方向を間違えると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



禁止

電気製品や精密機器（パソコン）などの近くでは使用しない

●電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒によって浸水すると感電・故障・発火の原因になります。



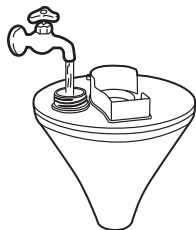
警告



水タンクの水は毎日新しく入れ替える

指示に従う

- 水を入れ替えないで長期間使用すると、雑菌やカビなどが繁殖し、異臭が発生したり、健康を害する原因になります。



吹出口から噴霧される霧は吸入しない

禁止

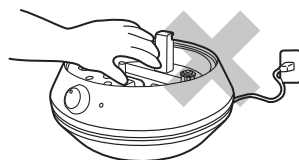
- 健康を害する原因になります。



禁止

水タンクや吹出しノズルを外したまま使用しない

- お子様が悪く誤って霧化部（振動子）を触って、感電やけがの原因になります。また、噴霧が広がり本体の故障や床を濡らす原因になります。（ご使用中に霧化部（振動子）や水柱に触ると痛みを感じる場合があります）



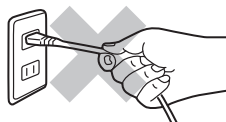
注意



指示に従う

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

- 感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



禁止

水タンク内に温水（40℃以上）や冷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

- 故障の原因になります。
※必ず水道水を使用してください。



禁止

水のない時や本体を倒した状態では絶対に使用しない

- 故障の原因になります。また、水の無い状態で運転をすると振動子の故障の原因になります。



指示に従う

寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・水槽・霧化部の水を捨てる

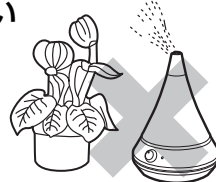
- 水タンクが割れたり、故障の原因になります。



禁止

この加湿器は室内（居住空間）の加湿専用です。これ以外の目的では使用しない

- 漏電・火災・感電・やけどなどの原因になります。



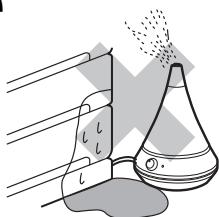
⚠ 注意



禁止

湿度の高い(70%以上)ところでは使用しない

- 家具や床を湿らせたりぬらす原因になります。



禁止

吹出口や吸気口をふさがない

- 紙や布などでふさぐと変形や故障の原因になります。



禁止

本体の上に腰をかけたり、足をのせたりしない

- 水がこぼれたり、破損の原因になります。



禁止

使用中や水タンク・水槽・霧化部に水が入った状態で持ち運んだり、傾けたり、動かしたりしない

- 水がこぼれ、床などがぬれる原因になります。



禁止

水槽や霧化部への直接給水はしない

- ショート・感電の原因になります。



指示に従う

移動や持ち運びの時は注意をする

- 落下するとけがの原因になります。また、引きずって移動などをおこなうと畳や床などに傷を付ける原因になります。



指示に従う

お手入れはこまめにおこなう

- 霧化部(振動子)に水アカなどが付着したまま使用を続けると、機能が正常に働かなくなったり、故障の原因になります。



禁止

水タンクの取っ手を持ってふり回さない

- 取っ手が破損し、けがの原因になります。



禁止

本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使用しない

- 本製品に無理な負担がかかり、火災や事故・故障の原因になります。



禁止

使用中にお手入れをしない

- 誤作動やけがの原因になります。



禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

- 変質・破損などによりけが・事故の原因になります。



禁止

本製品は屋内専用です。絶対に屋外で使用しない

- 屋内での使用に基づき設計されています。屋外で使用すると、故障・漏電・火災・事故の原因になります。



指示に従う

噴霧について下記のことに注意をする

室内が無風状態で噴霧が拡散しない場合や、エアコンなどの風向きによっては、本体や周辺がぬれることがあります。そのような場合は下記のようにご使用ください。

- 噴霧の向きを変える。
- エアコンなどの風向きを変える。
- 置き場所を変える。
- 加湿量を調節して少なくする。

※特に、就寝時やそばを離れる場合は注意してください。



禁止

直射日光が当たる場所や暖房器具の上や近くに置かない

- プラスチック部分に変形・変質することがあります。



禁止

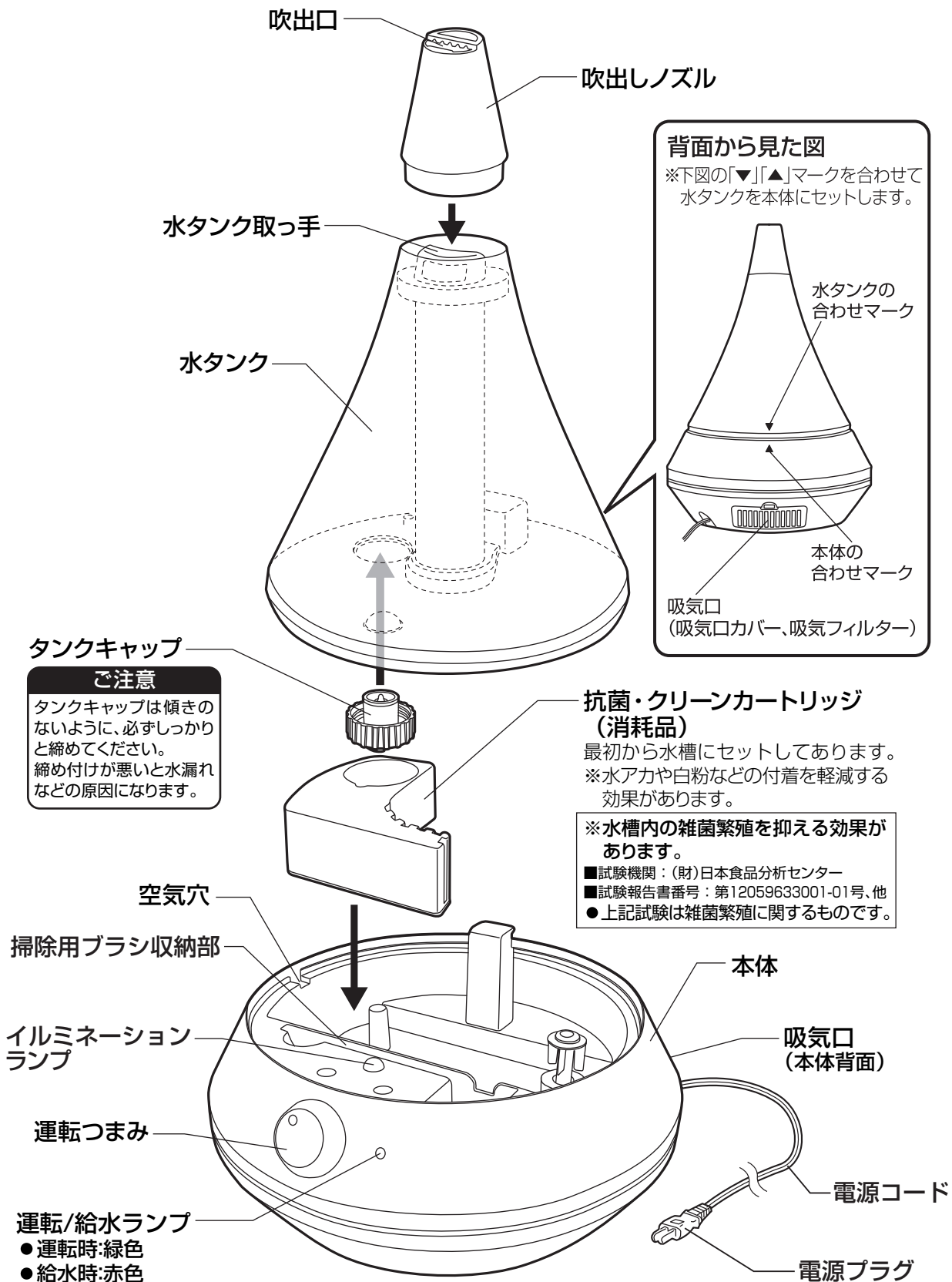
お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。

※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき つづき

■本体を真上から見た図

送風ガイド口

■水入厳禁

送風ガイド口から水が本体内部に入り込まないように注意してください。電気部品がぬれ感電やショート、故障の原因になります。

水槽

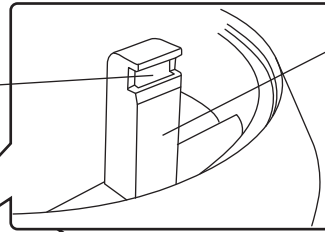
排水方向

抗菌・クリーンカートリッジ

水槽にセットしてください。

霧化部（振動子）

操作部側



送風ガイド

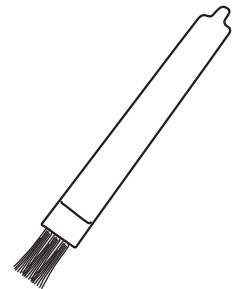
フロート

霧化部の水位を検知します。

■付属品

掃除用ブラシ（1本）

※水槽や霧化部などの清掃に使用します。



掃除用ブラシ
収納部

使用上のご注意

■加湿器の周辺にできる白粉について

- 加湿器から発生する霧が蒸発すると加湿器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が固形化したもので、有害なものではありませんが、加湿器周辺で電気製品や精密機器（パソコン）などを使用されたり、家具などの近くで使用すると霧が蒸発したあとに白粉が生じ、動作不良や故障、家具などを傷める原因になる場合があります。

白粉が付着した場合は、すぐに水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取ってください。

■霧化部（振動子）周辺の付着物（水アカ）について

- 加湿器を使用していると、霧化部の周辺に変色した付着物や白い付着物が付くことがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が引き寄せられ水アカとなって付着したものです。

水アカは放置すると固着して取れなくなり、故障や水漏れの原因となりますので、必ずこまめに付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって清掃してください。

■炎色反応について

- 燃焼器具のある室内で加湿器をご使用になると、炎の色が赤味を帯びてくることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が反応（炎色反応）したためです。異常ではありません。

使 い か た

1 平らな安定した場所に置く

⚠ 警告



幼児の近くや不安定な場所で使用しない

- 転倒すると水がこぼれたり、けがをする原因になります。

禁止

ご使用上の注意

■ 噴霧について

室内が無風状態で噴霧が拡散しない場合や、エアコンなどの風向きによっては、本体や周辺がぬれることがあります。そのような場合は下記のようにご使用ください。

- 噴霧の向きを変える。
- エアコンなどの風向きを変える。
- 置き場所を変える。
- 加湿量を調節して少なくする。

※特に、就寝時やそばを離れる場合は注意してください。

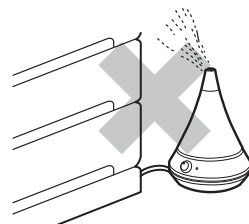
■ 正しい置き場所

吹出口から上方1m以内に噴霧をさえぎる物がなく、壁、家具などの変形、シミ防止のため、周囲との距離が充分にとれる、安定した水平な場所に置いてご使用ください。

■ 良くない置き場所

特に注意していただきたい置き場所

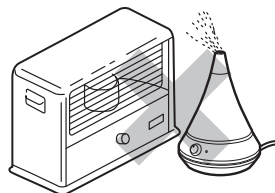
- 吹出口から出る噴霧が直接、家具、壁、カーテン、天井や紙類（ふすま・書物・ポスターなど）にあたる場所
家具などにシミや変形ができたり、故障の原因になることがあります。また、白粉が家具などに付着することがあります。（特に高級家具などがある場所でご使用の場合はご注意ください）



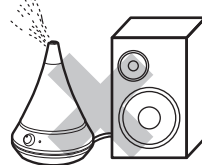
- 傾いた場所や棚など高い場所・不安定な場所・電気製品や精密機器（パソコン）などの近く
加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ、感電・故障などの原因になります。また、静電気により白粉が電気製品や精密機器（パソコン）に付着して故障の原因になります。



- 暖房器具などの上や近くで高温（40℃以上）になるところや、直射日光のあたるところ
プラスチック部品が変形したり、水タンク内の内圧変化により水があふれ出し水漏れの原因になります。



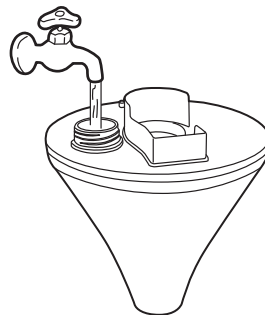
- スピーカーなどの磁気の近く
フロートスイッチが誤動作して加湿が停止するなど、機能が正常に働かなくなることがあります。



使 い か た っ づ き

2 水タンクに水を入れる

本体から水タンクを取り外し、タンクキャップを外して水タンクの中に水道水を入れます。水を入れたら、タンクキャップをしっかり締めます。



⚠ 注意



水タンク内に温水(40℃以上)や冷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

禁止

●故障の原因になります。※必ず水道水を使用してください。

ご使用上の注意

- ※水タンク・水槽・霧化部に異物(ヘアピン・マッチ棒・クリップなど)を入れないでください。故障の原因になります。
- ※タンクキャップは傾きのないように、必ずしっかりと締めてください。タンクキャップを締め付けたあとに、タンクキャップを下側にして水タンクを2~3回軽く振り、水タンクから水漏れがないか必ず確認をしてから本体にセットしてください。タンクキャップの締め付けがゆるかったり、傾いて締め付けられたりしていると、水タンクから水漏れすることがあります。
- ※水タンクの取り扱いには丁寧におこなってください。水タンクを落下させたり、衝撃を与えると破損や故障の原因になります。

3 水タンクをセットする

- 水タンクの取っ手を持つか、水タンクを両手でしっかり持ってゆっくりとセットします。
- 水タンクの合わせマーク「▼」と本体の合わせマーク「▲」を合わせて水タンクを本体にセットします。
- この時水タンク内の水が、水槽や霧化部に流れ込んでいるかをいち度水タンクを持ち上げ確認をします。

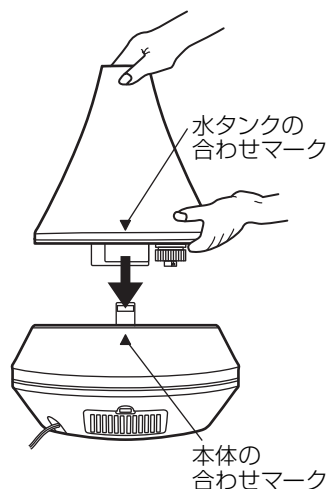
⚠ 警告



水タンクや吹出しノズルを外したまま使用しない

禁止

●お子様が誤って霧化部(振動子)を触って、感電やけがの原因になります。また、噴霧が広がり本体の故障や床を濡らす原因になります。(ご使用中に霧化部(振動子)や水柱に触ると痛みを感じる場合があります)

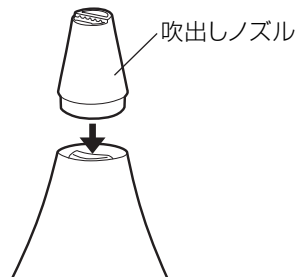


ご使用上の注意

- ※水槽・霧化部への直接給水はしないでください。
- ※水タンクはいち度セットしたあと、何度も持ち上げることはしないでください。水があふれる原因になります。
- ※水タンクが正しくセットされていないとすき間などから噴霧が漏れ、水滴となって流れ出し床などをぬらしたり故障の原因になります。

4 水タンクに吹出しノズルを取り付ける

水タンクに吹出しノズルを奥までしっかりと差し込みます。



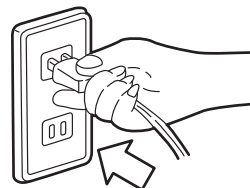
ご使用上の注意

- ※吹出しノズルが正しくセットされていないとすき間などから噴霧が漏れ、水滴となって流れ出し床などをぬらしたり故障の原因になります。

使 い か た つ き

5 結束バンドを必ず外してから電源プラグをコンセントに差し込む

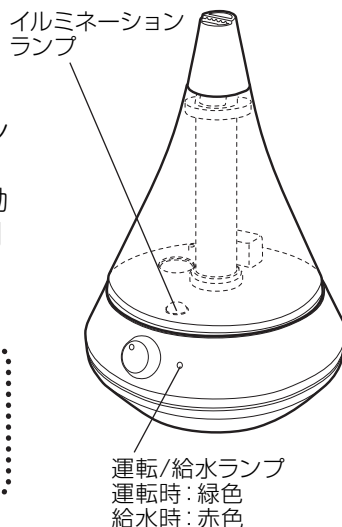
-ご使用上の注意.....
- ※電源コードを束ねたままで使用しないでください。
 - ※運転つまみが「OFF」になっているのを確認し、電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
 - ※水のない時や本体を倒した状態では絶対に通電しないでください。けがや故障の原因になります。



6 運転する

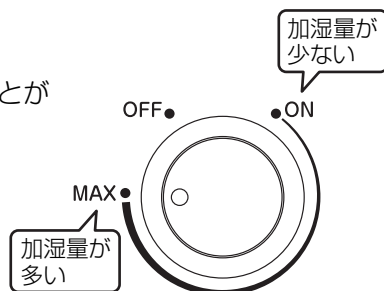
- 運転つまみを右に回し「ON」にすると、イルミネーションランプと運転/給水ランプが点灯し加湿運転を開始します。
- ※イルミネーションランプは、運転つまみの「ON」「OFF」に連動して点灯します。イルミネーションランプのみを「ON」「OFF」することはできません。

-ご使用上の注意.....
- ※「ON」にしたときに、運転/給水ランプが「緑色」になっているのを確認してから、お好みの加湿量に調節してください。運転/給水ランプが「赤色」の状態では運転つまみを「ON」以上に回さないでください。故障の原因になります。



■加湿量を調節するには

加湿量は「ON」から「MAX」の範囲内で、無段階調節することができます。お好みに合わせて調節してください。

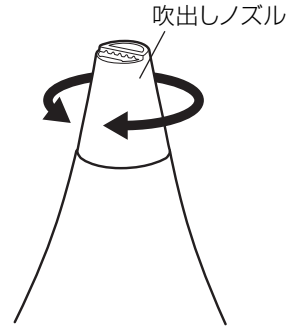


-ご使用上の注意.....
- ※使用場所の状況や天気の状態に合わせて加湿量を調節してください。
 - ※「MAX」で使用する場合（加湿量が多い状態）、室内の温度や湿度によっては製品本体、置台や床面などが噴霧による水滴でぬれることがあります。特に狭い場所や閉め切った場所でご使用のときは、水滴が付きやすくなりますので、周囲の状態を見ながら加湿量を調節してください。
 - ※テレビ・パソコンなどの電気製品や精密機器、書物の近くでの使用は、加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ感電・故障などの原因になりますので使用しないでください。また、噴霧が直接、家具・壁・天井などにあたるとシミや変形ができていたりすることがありますので、周囲との距離が充分とれる安定した水平な場所に置いてご使用ください。
 - ※加湿量を最少で運転したとき、室内の温度や湿度などの状況により、噴霧が見えにくくなる場合があります。

使 い か た つ き

■噴霧の方向を変えるには

吹き出しノズルは360度回転させることができます。お好みに合わせて向きを調節します。

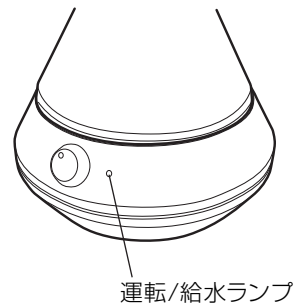


●ご使用上の注意

※噴霧が家具や精密機器（パソコン）などに直接かかると、噴霧に含まれるカルシウムなどのミネラル分が固形化し、白粉が付着することがあります。このような場合は、噴霧が直接かからないように噴霧の方向を変えてください。

■運転/給水ランプが「赤色」に点灯した場合

水タンクの水が無くなりますと、運転/給水ランプが「赤色」に点灯し、自動的に加湿運転を停止します。加湿運転が停止したら、運転つまみを「OFF」にして電源を切ってください。連続して加湿運転をする場合は、水タンクに水を補給して運転を再開してください。



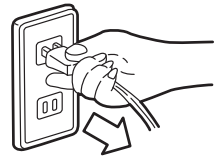
※給水時に運転つまみを「OFF」にして電源を切ったとき、運転/給水ランプ（赤色）が消灯するまでに数秒かかります。

●ご使用上の注意

※連続して加湿運転をする場合、「ON」にしたとき運転/給水ランプが「緑色」になっているのを確認してから、お好みの加湿量に調節してください。
運転/給水ランプが「赤色」の状態では運転つまみを「ON」以上に回さないでください。故障の原因になります。

7 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜きます

- 運転つまみを「OFF」にして運転/給水ランプが消灯してから電源プラグを抜きます。
- 水アカの固着防止のため排水をします。
- ※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、少し時間をおいてから排水してください。



⚠ 注意



プラグを
抜く

長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

●絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



指示に従う

寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・水槽・霧化部の水を捨てる

●水タンクが割れたり、故障の原因になります。

●ご使用上の注意


※長時間ご使用にならないときは、水タンク・水槽・霧化部の水は必ず排水してください。水が入ったまま放置しておくと、水タンク内の内圧変化により水があふれ出し、水漏れの原因になります。



■水タンク内の水が凍結するおそれがあるとき

- 水タンク内の水が凍結するおそれがあるときは、水タンク内の水を捨てます。万一凍結したときは、熱湯を注いだり他の熱源を近づけたりせず、常温で自然に溶かします。

お手入れと保管

■霧化部周辺が熱を持つことがありますので、お手入れや移動の際は電源プラグを抜き、少し時間をおいてからおこないます。水タンクの水は捨て、菌やカビの繁殖や異臭防止のため、下記の要領に従って清掃をおこないます。

⚠ 警告	
<p> ぬれ手禁止</p> <p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。 	<p> 水ぬれ禁止</p> <p>本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショート・火災・故障の原因になります。 

⚠ 注意	
<p> 禁止</p> <p>お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。 <p>※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。</p>	<p> 禁止</p> <p>掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変質・破損などによりけが・事故の原因になります。

■水タンク (毎回)

- タンクキャップを外し、水タンク内に水を半分くらい入れ、タンクキャップをしっかりと締めて水タンクを軽く振り、水を排水します。(2～3回繰り返してください)
- 清掃後は外側の水気をきれいにふき取ります。

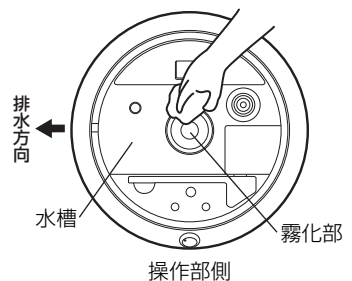
……ご使用上の注意……


※ご使用後や給水時に水タンクを持ち上げたとき、水タンク底面についた水滴が滴下することがあります。水タンクを持ち上げるときや持ち運ぶときは床などをぬらすおそれがありますのでご注意ください。

■水槽・霧化部 (1週間に1回以上)

- 水タンクを外して、本体に指示してあります排水方向に本体を傾け排水します。
- 付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきをよくしぼって水槽や霧化部の汚れを清掃します。

水アカは放置しますと固着して取れなくなりますので、必ずこまめに清掃してください。



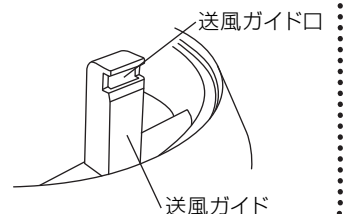
⚠ 警告	
<p> 禁止</p> <p>お手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。 	

……ご使用上の注意……

※お手入れ中は水槽や霧化部に水をいっぱい入れないでください。

※霧化部の清掃は付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきをよくしぼって清掃してください。金属ブラシなどのかたい物で霧化部の表面をこすらないでください。傷がつき故障や腐食の原因になります。

※お手入れ中や排水時などは、送風ガイド口から水が本体内部に入り込まないように注意してください。電気部品がぬれ故障の原因になります。



- フロートの回りのゴミは取り除きます。
- ※フロートの回りにゴミなどが付着するとフロートが正常に動作しない場合があります。

お手入れと保管 つづき

ワンポイントアドバイス

■霧化部の水アカが清掃してもきれいにならない場合

酢またはレモン水25ml（大さじ約2杯）を混ぜた水（1ℓ）を水タンクに入れ、約15分運転してから、お手入れをしてください。

※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、お手入れは少し時間をおいてからおこなってください。

■抗菌・クリーンカートリッジ（1週間に1回以上）

- 水洗いしながら柔らかいふきんで汚れをふき取ります。
- ※抗菌・クリーンカートリッジは水道水に含まれるカルシウムなどのミネラル分を吸着し、水アカや白粉などの付着を軽減する効果と水槽内の雑菌繁殖を抑える効果があります。

■抗菌・クリーンカートリッジの交換時期

交換時期は1日約6時間の運転で1シーズンを目安としています。1シーズンごとに交換してください。

■吹出しノズル（1週間に1回以上）

- 水洗いしながら柔らかいふきんで汚れをふき取ります。

■吸気口カバー（1か月に2回以上）

- 吸気口や周辺のほこりを、掃除機のソフトブラシなどで吸い取ります。

■吸気フィルター（1か月に2回以上）

- 吸気フィルターが目詰まりすると故障の原因になりますので次の要領で清掃して、必ず元どおりに取り付けます。

- 1.本体背面の吸気口カバーを外し、吸気フィルターを取り出します。
- 2.軽くはたいてほこりを落とします。
特に汚れがひどい時には水洗いをして、充分乾かします。
- 3.清掃後は元どおりに取り付けます。
吸気フィルター・吸気口カバーなしで絶対に使用しない。
故障の原因になります。

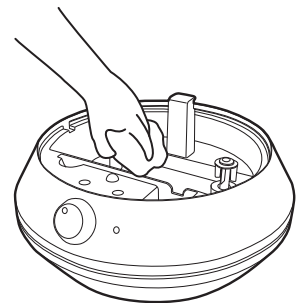
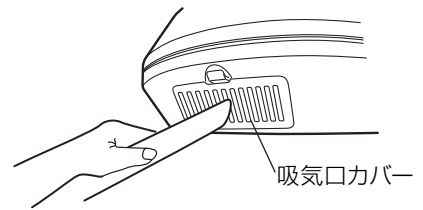
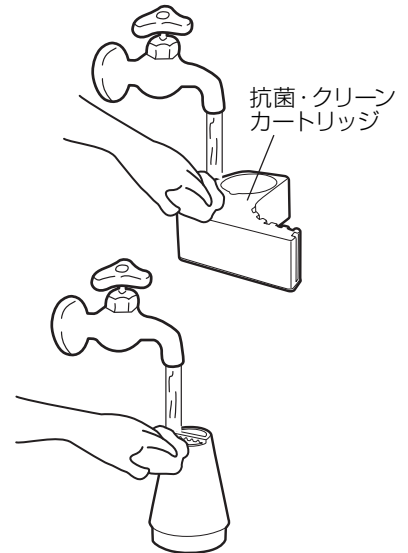
■本体

- 水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。
落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかいふきんで汚れをふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようきれいにふき取ります。
- 本体の丸洗いは絶対におこなわない。

※お手入れの後は、水分をきれいにふき取ってください。吹出口、水タンク、抗菌・クリーンカートリッジ、吸気フィルター、吸気口カバーが正しく取り付けられていることを確認してから使用します。

■保 管

- お手入れした後よく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせて、直射日光を避け湿気の少ない場所に保管します。（湿ったまま保管するとカビの発生や故障の原因になります）
- シーズン中に抗菌・クリーンカートリッジを保管する場合はよく乾燥させ、ビニール袋などに入れ保管します。



故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
加湿しない	●水タンクの水がなくなっていないですか?	●水タンクに水を給水してください。
	●運転つまみが「OFF」になっていませんか?	●運転つまみを右に回して「ON」にしてください。
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●運転/給水ランプが「赤色」に点灯していませんか?	●水の量を確認して給水してください。
電源プラグが異常に熱くなる	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか?	●コンセントをお調べください。
	●タコ足配線や延長コードを使用していませんか?	●延長コードやコンセントの定格以内でご使用ください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 運転つまみを「ON」にしても動かないことがある。
- 電源コードの被覆が破れている。
- 電源コードを動かすと通電したり、しななかったりする。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れする。
- その他の異常がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!

故障や事故防止のため、運転つまみを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

仕 様

電 源	交流100V 50-60Hz
消 費 電 力	26W
製 品 寸 法 (約)	幅：240×奥行：245×高さ：330mm
製 品 質 量 (約)	1.3kg
コ ー ド 長 (約)	1.5m
水タンク容量 (約)	1.7ℓ
※加 湿 量 (目安)	約300mℓ/h ※MAX (強) 運転時
※適用床面積の目安	木造和室：約5畳 プレハブ洋室：約8畳 ※MAX (強) 運転時
※連続加湿時間 (約)	5.5時間 ※MAX (強) 運転時
安 全 装 置	オートOFF機能 (給水ランプ点灯時、振動子・ファンの停止) 電流ヒューズ

※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更する場合があります。

※本製品の加湿能力について (仕様欄の※印)

加湿量、適用床面積、連続加湿時間につきましては、室温20℃・湿度40～60%の条件の基で測定した値を表示しています。製品の加湿能力は部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房器具などの影響で変化します。ご使用される条件によっては表示値に対して差異が生じることがあります。

■電気代について

MAX (強) 運転時 (26W) : 1時間あたり 約0.6円

※電気代は、電気料金目安単価 22円/kWh (税込) を基に計算しています。

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
ただし、抗菌・クリーンカートリッジは消耗品ですので抗菌・クリーンカートリッジのご注文は保証期間内でも有料とさせていただきます。
- ③保証期間経過後の修理（有料）についてはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。
- ⑥交換用抗菌・クリーンカートリッジ（有料）のご注文につきましては下記「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

●FAXでの
ご相談は  0120-680-287

●Eメールでの
ご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・品番をご連絡ください。

J-130802